

貧酸素水塊速報 (2006年)

千葉県水産総合研究センター(編集)
 神奈川県水産技術センター
 内湾底びき網研究会連合会(千葉県)

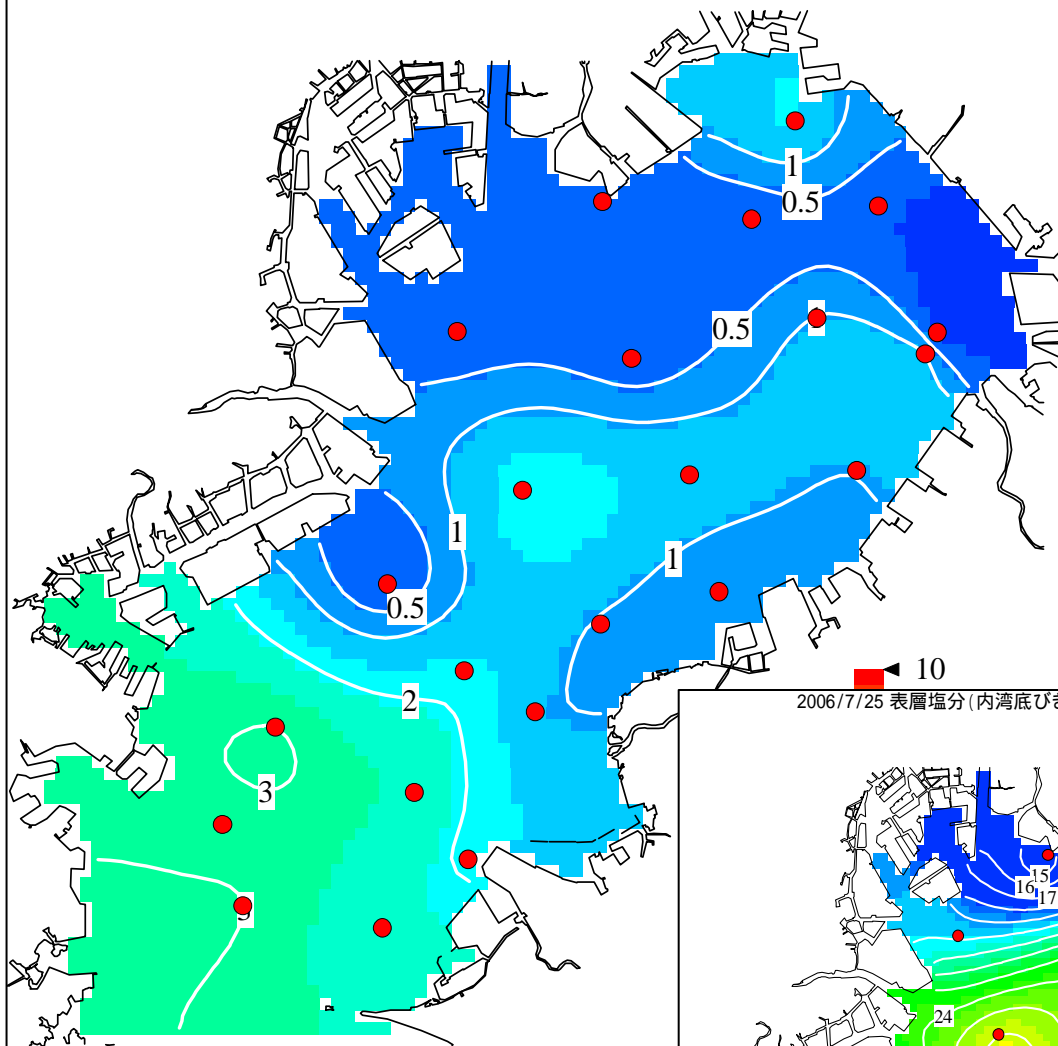
協力:海上保安庁海洋情報部
 協力:千葉県環境研究センター
 協力:東京都環境局
 協力:第三管区海上保安本部

内湾底びき網研究会連合会による調査結果です。お疲れ様でした。

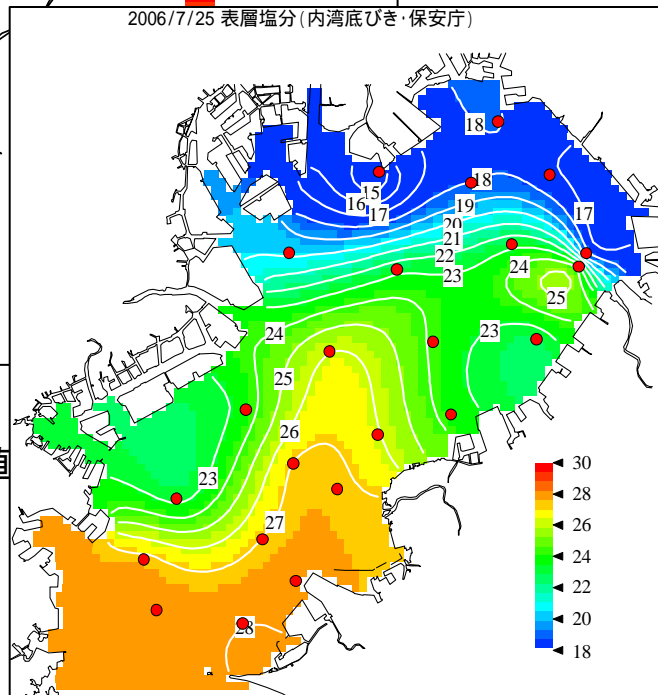
内湾のほぼ全域に貧酸素水塊が広がってきました。特に北部はDOが低い状況です。青潮に対しても注意が必要です。

水温は、表層で20~24℃、底層で15~22℃でした。塩分は湾奥を中心に低めです。

2006/7/25 DO (内湾底びき・保安庁)



2006/7/25 表層塩分 (内湾底びき・保安庁)



底層の溶存酸素量分布 (m// // ;速報値
平成18年7月25日観測分)

酸素飽和度と溶存酸素量の目安		
酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5m//	貧酸素水
30~40%	2.0m//	魚類に影響
	1.5m//	貝類危険
	1.0m//	
10%	0.5m//	

「東京湾貧酸素水塊予測システム」も運用しています。水産総合研究センターのホームページからご覧ください。携帯電話は <http://www.awa.or.jp/home/cbsuishi/cbmobile.html> からどうぞ